

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果

プログラム名	ファイバー工学分野の技術者・研究者育成を目指した日中韓大学院生研修プログラム	
学部・研究科名	繊維学部・総合理工学研究科	
プログラム実施期間	2019年9月5日～9月12日	
研修先(国・都市・施設名)	中国・青島市・青島大学	
	参加学生数 8名	知の森からの支援者数 2名
プログラム概要	<p>ファイバー工学分野における日本・韓国・中国の大学院生の交流の場を設け、学生達に国際的な感覚を身につけてもらい、将来、国際的に活躍できる技術者・研究者を養成することを目的とする。平成19年より日本・韓国の2か国間で開始し、平成23年より中国が加わり3か国の持ち回りで毎年開催してきた実績を有し、今回は中国で開催する。</p> <p>研究発表ならびに討論会を中心に実施し、英語を使用し、グローバル社会に向けて、プレゼンテーションとコミュニケーション能力を向上させ、自身の研究や最近の研究動向に対する知識を深める。また5国学生間の交流の場を提供するものである。</p>	

実施状況・成果

第11回 International Symposium on High-Tech Fiber Engineering for Young Researchers が、2019年9月5日(木)～9月12日(木)に、中国の青島大学にて開催され、中国、韓国、日本などの各国から約150名の学生が参加しました。信州大学の総合理工学研究科繊維学専攻の斎藤悠介さん、Wang Qianyuさんが「優秀ポスター発表賞」を受賞しました。斎藤悠介さんはアンチバクテリア機能を有したナノファイバーの研究、Wang Qianyuさんはナノファイバーを用いたセパレーター作製に関する研究を行いました。

各大学からの参加者により口頭発表およびポスター発表が行われ、若手研究者同士の活発な意見交換を通して、繊維・ファイバー工学分野における5カ国の研究動向や展望を確認することができました。さらにコーディネーター教員により、ファイバー工学分野の最新の研究動向や課題に関する話題提供の場が設けられました。

英語を標準語とし、発表や討論を通して、英語でのコミュニケーション能力を向上させました。また、さまざまな国籍の学生が交流することで、他国間でのコミュニケーションや人脈形成に繋がり、将来的なグローバル規模での活躍の足がかりとなりました。国際社会で活躍できる技術者・研究者になるための貴重な経験ができたと評価します。

学生の声①-総合理工学研究科 学生

I have learned a lot about functional fiber and its application in industry. I also met some students from other schools and talked about some applications of nanofibers. I am honored to attend this academic conference.

学生の声②-繊維学部 学生

今回のシンポジウムで、海外での研究発表の体験をさせて頂き、グローバルな視野を得ることが出来ました。

また、学生と英語でのコミュニケーションをとることは新鮮で、普段学んでいる英語を実践で使うことが出来るいい機会となりました。

9月7日集合写真\_学会会場



9月7日集合写真\_金研究室

